

東洋陶磁美術館、大阪地方裁判所を見学

- 【実施日】 令和6年9月13日(金曜日)
- 【集合場所、集合時間】 大阪市役所正面玄関 10:00
- 【行程】 大阪市役所出発 10:00 ⇒ 東洋陶磁美術館 10:30~11:30 ⇒ 中之島公園 11:30~12:50 (昼食、班長会議)⇒大阪地方裁判所前集合 13:00 ⇒ 裁判所内傍聴 13:00~15:00 自由解散
- 【参加費】 700 円/人 徴収(そら組から 700 円補助有、大阪市在住者無料(要証明書))
- 【持ち物】 弁当、飲み物(暑い時期ですから多めに持参)、健康保険証、雨具
近くに食べる所が沢山あります(時間は十分ありますから外食もご自由に)
- 【実施可否】 雨天決行(台風、災害クラスの大雨の場合は中止)
- 【参加人数】 各班の班長さんは 9 月 6 日までに参加人数を 5 班・中崎まで連絡してください
大阪市在住の 65 才以上の方の人数も合わせてお願いします

東洋陶磁美術館は安宅産業の破綻により安宅コレクションを住友銀行中心とした住友グループ 21 社により大阪市に寄贈され 1982 年に設立された。コレクションは 5732、国宝 2、重要文化財 13、陶器は日本では 1 万 2 千年前、世界では最古と言われる土器が発見されており日本の焼き物は世界で最も長い歴史を持っている。その後の日本の焼き物の歴史は中国や朝鮮の影響を受けて育ってきた。その中国、朝鮮から持ち込まれた陶磁器が多く展示されている。やはり一番の見ものは油滴天目茶碗で油滴状の美しい斑紋と虹色の光彩から曜変天目茶碗(その曜変に継ぐものとして油滴)の名で室町時代から高く評価されてきた。釉内の鉱物が再結晶する事で斑紋として現れたのが油滴と呼ばれる。南宋時代(12~13世紀)に流行した。(一部陶磁器の考古学より引用) 現在陶芸家たちが曜変天目茶碗に挑戦しているが未だ完全な物は出来ていない。余談になりますが6月雅子皇后が訪英された際飛行機のデッキから現れた姿がブルーと白のアクセントのご洋服がとても素敵でした。テレビではウエッジウッドカラーと放送していましたが厳密にはジャスパーペールブルーで中国からの磁器を18世紀に動物の骨灰を使いボーンチャイナと名付けられた。ウエッジウッドが独自のブルーをベースにボーンチャイナのまっ白の美女のデザインがとても優雅で眺めるだけで心が豊かになるカップです。

午後は大阪地方裁判所を見学します。浜の真砂は尽きるとも世に悪の種は尽きずと言うことわざがありますが毎日多くの裁判が行われています。時には何だか流れ作業的な裁判も見受けられますが人権という観点から考えさせられる事もあり世相の一端を垣間見る思いをする。
裁判中の部屋の出入りは自由ですがお静かに願います。

